



診療科のご案内 ～放射線科～

日頃より、地域の皆様には大変お世話になっております。

放射線科は、昨年度まで常勤医師5名体制でしたが、今年度より新たに放射線治療専属の常勤医師(丹羽)を含む、常勤医師7名体制(小林、黒堅、久米、村山、斉藤、杉原、丹羽)で診療にあたっています。また、インターベンション(IVR)では、名古屋市立大学病院よりIVR専門医に来ていただいております、協力して診療にあたっています。

診断部門では、病診連携により地域の先生方に当院のCT、MRI、RI、US、マンモグラフィー、骨密度検査をご利用頂いておりますが、常に迅速な診断レポートの発行、キー画像添付による分かりやすいレポート内容を心がけております。USを除き、読影レポートは、最終的に2名の放射線画像診断専門医(小林、久米)が確認し、発行しております。今後とも積極的なご活用をお願いいたします。

治療部門では、最新の治療装置であるラディザクトを導入して、強度変調放射線治療(IMRT)が可能となりました。IMRTは、癌に放射線を集中させて、周辺臓器にあたる放射線量を少なくできるため、従来の治療法よりも治療効果が高く、副作用が少ないという優れた特徴があります。根治照射から緩和照射まで幅広く対応できるようになりましたので、癌に

ついてお困りのことがありましたら、ぜひ放射線科にご相談ください。

今後とも、地域の先生方との連携を通じて、より良い医療の提供を目指していきたいと考えております。よろしく願い申し上げます。



入院のご依頼は事前にご連絡ください

現在、当院では、新型コロナウイルス感染症患者に対応する病床を確保したことから、一般に利用できる病床が日常的に少なくなっており、満床に近くなる日も多くあります。

また、特に精神科病棟への入院につきましては、身体と精神症状の合併がある患者さんの場合、管理できる部屋が限られており、お受けできない場合もあります。

入院のご依頼は、事前に診療科の医師へ直接ご相談いただく運用となっておりますので、必ず事前の連絡を必ずお願いします。

病床の空き状況を踏まえて、受け入れ可否のご回答をさせていただきますので、よろしくをお願いします。

共同診療をぜひご利用ください

当院では、ご紹介いただいた患者さんの継続性・一貫性のある医療の提供と地域連携推進の観点から共同診療を実施しております。

共同診療では、入院中の患者さんの状態について、当院主治医から検査結果等を踏まえ、現在の状況を連携医へ正確にお伝えすることで、退院後の診療へ、スムーズに移行できます。

また、患者さんも日頃お世話になっている先生のお顔を見ると、大変安心されるようです。昨年度も11件実施しましたが、大変有意義な制度として高く評価をいただいております。

共同診療をご希望される際は、当院様式の受診依頼票のチェック欄を活用いただくか、希望の旨を文中にご記載ください。患者さんの同意が確認できれば、実施できるよう手配をさせていただきますので、是非、ご利用ください。



地域医療連携システム（ID-Link）ご利用ください

「ID-Link」は、豊川市民病院が保有する検査や処方、画像データなどの診療情報を、患者さんの同意のもと、インターネットを介して閲覧できるシステムです。導入方法などについては、豊川市民病院患者サポートセンター（0533-86-1111 代表）へお問い合わせください。



詳しい情報は、QRコードからアクセスしてください

豊川市民病院

〒442-8561 豊川市八幡町野路 23 番地（電話 0533-86-1111【代表】）

※休診日：土・日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

※名鉄豊川線「八幡」駅下車すぐ。

※「豊川市コミュニティーバス」「豊鉄バス」の乗り入れ有り。

